

名 称 所 在	用 途 (令別表)	発 生 日 時 等	構 造・階 層 面 積	焼 損 程 度 (焼損面積 延面積)	死 傷 者
寝屋川第一 センター市場		昭和42年9月13日	軽量鉄骨造 一部木造%	④・半・部・小	死者
大阪府寝屋川市 対馬区26	百貨店 (4)	出火 0時25分ころ 覚知 0時45分 覚知別火災専用電話 鎮火 時 分	建 845m ² 延 996m ²	996m ² (100%)	5名 傷者 2名 ()

I 火災概要

① 概 要	この火災は、深夜、1階店舗部分から出火したもので、発見が遅れたことと火の廻りが早かったため、2階の居住者が逃げ遅れ、安全な屋外非常階段があったにもかかわらず、使用されずに5名が焼死するという惨事となった。						
	階	床 面 積	焼損床面積	用途(売場)	在館者	死 者	避難設備等
② 階 別 状 況		m ²	m ²				屋内階段 1箇所 屋外階段 1箇所
	2	151.2	151.2	共同住宅	11	5	(消) (内)
	①	845.6	845.6	店舗	1		
	合計	996.8	996.8		12	5	
③ 出 火 場 所	(階、室、部位、可燃物状況、居室・非居室、在・不在) <u>1階店舗中央部の北寄りの地点から出火</u>				④ 出 火 原 因	不 明	

⑤ 火 災 の 延 焼 経 路 等	(出火部位) 1階店舗中央 北側付近	(出火室の拡大) ベニヤ板の内壁、 天井等に移り拡 大した	(他室の拡大) ベニヤ板の間仕 切壁のため延焼 した	(上階への拡大) 屋内階段及び天 井、床を通じて 2階に延焼した				
	1階天井の中央部北側付近からの火炎は、ベニヤ造りの内壁、間仕切壁に燃え移り、屋内階段から2階へと延焼、さらには2階木造床を燃え抜けて全焼するに至った。							
○ 延焼拡大した主な理由 ○ 建物外装を除き区割り壁、天井等総てベニヤ張りであったため、延焼が早かった。 ○ 発見が遅く、すでに火勢が拡大していた。 ○ 煙の伝播経路 火勢の拡大により、煙は屋内階段より2階廊下へと上昇し、各室に充满していった。								
II 火災建物概要								
① 建 築	着工・竣工又は主たる改築等 (建物) 昭和38年12月24日 () 昭和 年 月 日							
管 理 状 況	② 積 穴 の 状 況		③ 防 火 管 理 状 況					
	階 段 <input checked="" type="checkbox"/> ダクトスペース <input type="checkbox"/> エレベーター <input type="checkbox"/> パイプシャフト <input type="checkbox"/> エスカレータ <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/>	○空店舗が多く、営業的にも不振であったため、防火管理者も選任せぬ(非該当)無防備状況であった。 ○立入検査により、自動火災報知設備の設置等再三の指導にもかかわらず、改善の意志が見られなかった。						
屋内階段と店舗の境に防火シャッターが設けられていたが、内部は全て木造のため効果はなかった。								
管 理 状 況	④ 防 火 区 画 等		⑤ 消 防 用 設 備 等					
	区画等なし		○自動火災報知設備の未設置であった。 ○屋内消火栓は基準に適合せず、ホース、筒先も完備しておらず、使用不能であった。					

III 火災後の行動

① 発 見 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ○発見者 (隣家の主婦) ○発見の動機 (煙と炎を発見) ○発見後の行動 (大声で火事を知らせる) <hr/> <p>火元建物西側の隣家2階で寝ていたY子(48才)が、用便に行くために目を覚した時窓ガラス越しに灯りのようなものを見たので、ふと外を見ると、市場西側の事務所の軒から煙と炎がでているのを認め、大声で火事を知らせた。 ※帰宅途中の店員M男(27才)も火元建物付近を通行中、煙と炎を発見している旨供述している。</p>		
	<p>② 通 報 状 況</p> <p>通 報 し た <input type="checkbox"/> 出火後約(20)分 通 報 し な い <input checked="" type="checkbox"/> (付近の住民が通報)</p> <hr/> <p>火元建物関係者からの通報はなく、付近の住民から通報された。(0 時45分)</p>		
③ 初 期 消 火 状 況	<p>消 火 し た</p> <p><input type="checkbox"/> 成功 <input type="checkbox"/> 失敗</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> 	<p>(理由又は状況)</p> <p>発見時はすでに事務所付近から煙と炎が吹出しており、手のつけようがなく初期消火は何らなされておらず、消防隊の到着を待つばかりの状況であった。</p> <p>火元建物の屋内消火栓は使用できない状況だった。</p>	
	<p> 消 火 し な い</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消火時期 <input type="checkbox"/> ○消火困難性 <input type="checkbox"/> ○消火方法 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/> 		
④ 消 火 活 動 概 要	<p>(消防上の支障・困難性等)</p> <p>消防隊が到着時すでに火炎は市場内に充満し、各開口部より火炎が噴出して、隣接建物の窓ガラスが破れ延焼寸前であり屋内進入による検索・救助は不可能の状況であった。</p>		

	避 難 方 法	避 難 上 支 障 事 項																
⑤ 避 難 状 況	<ul style="list-style-type: none"> ○階段を利用 <input checked="" type="checkbox"/> (4 人) ○エレベーター、エスカレータ利用 <input type="checkbox"/> (人) ○避難器具を利用 <input type="checkbox"/> (人) ○窓、開口部から直接地上へ <input checked="" type="checkbox"/> (2 人) ○救 助 <input type="checkbox"/> (人) ○その他() <input type="checkbox"/> (人) 	<ul style="list-style-type: none"> ○無 窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input checked="" type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input checked="" type="checkbox"/> (管理不良、機能不良、未設置) ○停 電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/> 																
	<p>○火災の認知は、全員熱気と煙で初めて知ったようであり、すでに廊下は濃煙に包まれていた。また、当 日は台風接近のため窓等には板張りや釘付けをしていた。</p> <p>○建物 2 階南東側の室の家族 4 名は東側の屋外非常階段にて無事避難した。</p> <p>○1 階にいた 1 名は西側より避難した。</p> <p>○2 階の北東側の室にいた家族 3 名は、廊下に出て屋内階段方向に走ったが、K 子のみ西側の N 男の室に入り込み、窓からとび降りた (他の 2 名は死亡)。</p> <p>○2 階の西側の室の 3 名のうち、N 男のみ窓からとび降り、避難した (他の 2 名は死亡)。</p>																	
⑥ 死 者 の 状 況	<table border="1" style="width: 100px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px;">健康人</td> <td style="padding: 2px;">4 名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">(泥酔者</td> <td style="padding: 2px;">名)</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">要保護者</td> <td style="padding: 2px;">1 名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">[乳幼児</td> <td style="padding: 2px;">名]</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">高齢者</td> <td style="padding: 2px;">1 名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">身体不</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">自由者</td> <td style="padding: 2px;">名</td> </tr> <tr> <td style="padding: 2px;">[病 人</td> <td style="padding: 2px;">名]</td> </tr> </table>	健康人	4 名	(泥酔者	名)	要保護者	1 名	[乳幼児	名]	高齢者	1 名	身体不		自由者	名	[病 人	名]	<p>避難上支障となった事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○無 窓 <input type="checkbox"/> ○開口部の格子等 <input checked="" type="checkbox"/> ○非常口(出入口)等の施錠 <input type="checkbox"/> ○警報設備 <input checked="" type="checkbox"/> (管理不良、機能不良、未設置) ○停 電 <input type="checkbox"/> ○その他 <input type="checkbox"/>
健康人	4 名																	
(泥酔者	名)																	
要保護者	1 名																	
[乳幼児	名]																	
高齢者	1 名																	
身体不																		
自由者	名																	
[病 人	名]																	
	<p>死亡した 5 名は、いずれも 2 階に就寝していた者で、その動行は不明であるが、3 名は 2 階西側の出入口付近で窒息して焼死し、1 名は 2 階廊下中央部、他の 1 名は廊下中央部よりやや西寄りの廊下で焼死したものと推定され、それぞれ真下に当る 1 階で発見された。</p>																	
	<h4>IV 問題点・教訓等</h4> <ol style="list-style-type: none"> 1. 建物東側に設置してあった屋外階段が有効に利用されなかった(この階段を利用した 4 名は難無く避難している)。 2. 当日は台風の接近で窓や出入口の破壊等の予防に補強対策をしており、そのため、窓には板張りや釘付けをしていたものと考えられ、避難上の障害になったものと思われる。 3. 建物管理者及び居住者ともに防火管理意識はなく、警報設備は設置されず、さらに設置されていた屋内消火栓も管理されずに使用不能であった。 																	

- 1 店舗の構造
各店舗の区割は、下部1メートル迄はブロック造
であり、他はすべてベニヤ板で区割されている。
- 2 店舗数
35店舗 このうち7店舗のみが営業している。

